

2022年度

(第12事業年度)

事業報告書

2022年 1月 1日から

2022年 12月 31日まで

公益財団法人三島海雲記念財団

2022 年度事業報告及び附属明細書

1. 2022 年度事業報告

2022 年度は、定款に定める公益目的事業（学術研究奨励事業）に基づき、第 60 回「学術研究奨励金」の贈呈及び第 11 回「三島海雲学術賞」の贈呈並びに「学術活動支援」に係る学術研究奨励事業を行いました。

1) 学術研究奨励事業（助成）

本事業は自然科学と人文科学の学術研究において、将来の発展が期待できる優れた研究を支援することを目的としています。

(1) 対象とする学術研究分野

(イ) 自然科学部門：食の科学に関する学術研究

「食の科学」に関する学術とは、食品素材、製造・加工・調理、発酵・微生物利用、栄養・嗜好・生理機能、食の安全、疾病予防などに係る研究

(ロ) 人文科学部門：アジア地域を対象とし、史学・哲学・文学を中心とする人文社会科学分野における学術研究(但し、日本を中心とする研究は除く)

(2) 対象とする研究者及び研究グループ

上記学術研究分野の個人研究者及び複数の研究機関又は異なる部局の研究者が共通の課題について研究する共同研究グループ

(3) 応募資格

(A) 個人研究奨励金

(1) 日本在住の研究者（国籍は問いません）及び海外在住の日本人研究者

(2) 上記(1)には、大学院博士課程後期在籍者（及びそれに相当する大学院生）を含みます。

(3) 年齢制限は有りませんが、若手研究者及び女性研究者の積極的応募を期待します。

(B) 共同研究奨励金

(1) 共同研究の代表研究者とします。

代表研究者は、複数の研究機関又は異なる部局の研究者が、共通の課題について、共同して行う研究組織を代表し、計画の推進、取りまとめ等に責任をもって遂行できるものとします。

(2) 代表研究者は国内の大学、研究機関に所属することとします。なお、共同研究者の国籍所属研究機関の所在地(海外も可)を問いません。

(3) 共同研究者は、代表研究者と異なる外部研究機関あるいは部局に所属していることを必要とします。

(4) また、原則、分担研究費が 100 万円以上の共同研究者が一名以上加わることを必要とします。

(4) 推薦者

(1) 所属機関の部局長(所属長)、または、これに準ずる方の推薦を必要とします。

大学院生の場合は指導教官も可とします。

(2) 個人研究奨励金の推薦件数は複数可とします。

共同研究奨励金の推薦件数は一推薦者につき 1 件とします。

(5) 応募方法

当財団ホームページのWebシステム(研究助成申請システム)で応募してください。

(6) 応募期間

申請書の受付期間 2022 年 1 月 11 日～2 月 28 日

(7) 選考方法

学術委員からなる選考委員会の選考を経て理事会で決定しました。

(8) 奨励金の採択結果

(A) 「個人研究奨励金」

①応募件数 自然科学部門 252 件、人文科学部門 75 件、計 327 件（前年比 107%）

②採択件数 自然科学部門 54 件、人文科学部門 17 件 計 71 件（採択率 22%）

※女性及び大学院生の構成比：自然科学部門 応募 37%、採択 37%

人文科学部門 応募 75%、採択 82%

③贈呈金額 1 件当たり 100 万円、総額 7,100 万円

④助成期間 原則として、毎年 7 月から翌年 6 月の 1 年間

(B) 「共同研究奨励金」

①応募件数 自然科学部門 21 件、人文科学部門 7 件、計 28 件（前年比 104%）

②採択件数 自然科学部門 3 件、人文科学部門 1 件 計 4 件（採択率 14%）

③贈呈金額 1 件あたり 500 万円、総額 2,000 万円

④助成期間 原則として、毎年 7 月から翌年 6 月の 1 年間

(9) 選考結果の通知

贈呈年度 6 月中旬までに書面にて申請者宛に通知しました。

(10) 助成金の贈呈

7 月までに、申請者及び共同研究奨励金の分担研究者が指定する口座に一括交付しました。なお、贈呈式は、新型コロナの感染状況を勘案し、7 月 8 日に一部の代表者をお招きして贈呈式・受賞講演会を開催し、その模様は事前登録した関係者に同時 Web 配信しました。

2) 三島海雲学術賞事業（褒賞）

本賞は、自然科学及び人文科学の学術研究領域において、とりわけ、創造性に富み優れた研究能力を有する若手研究者を顕彰し、その研究の発展を支援してゆくことを目的としています。

(1) 対象分野

(イ) 自然科学部門 : 食の科学に関する研究

「食の科学」に関する学術とは、食品素材、製造・加工・調理、発酵・微生物利用、栄養・嗜好・生理機能、食の安全、疾病予防などに係る研究

(ロ) 人文科学部門 : アジア地域の歴史を中心とする人文科学に関する研究

(但し、日本を中心とする研究は除く)

(2) 候補者の資格

国内外の学術誌等に公表された論文、著書、その他の研究業績により独創的で発展性のある顕著な業績を挙げている者のうち、下記の条件を満たす若手研究者。

(イ) 45 歳未満の者（2022 年 4 月 1 日現在）

(ロ) 人文科学部門は、直近 2 年間（2019 年 8 月から 2021 年 9 月）に刊行された著書（単著）を有する者

(ハ) 日本在住の研究者（国籍は問いません）及び海外在住の日本人研究者（日本国籍を有するもの）

(3) 推薦者

(イ) 本財団より推薦依頼を受けた学会及び大学等研究機関（部局）の代表者

(ロ) 本財団より推薦依頼を受けた出版社の部門代表者

(ハ) 本財団の理事並びに評議員（但し、選考委員を除く）

- (4) 推薦期間
2021年8月1日～同年9月30日（当日の消印有効）
- (5) 選考方法
学術委員からなる選考委員会の選考を経て理事会で決定しました。
- (6) 受賞者の決定
①応募件数 自然科学部門 12件(11)、人文科学部門 8件(5)、計 20件(16) ()内前年度
②採択件数 自然科学部門 3件、人文科学部門 1件 計 4件
③贈呈金額 1件あたり 300万円、総額 1200万円
- (7) 結果の通知
採否の結果は、2022年4月下旬までに候補者及び推薦者に通知しました。
- (8) 贈呈式
贈呈式は、新型コロナの感染状況を勘案し、7月8日に一部の代表者をお招きして贈呈式・受賞講演会を開催し、その模様は事前登録した関係者に同時 Web 配信しました。

3) 学術活動支援事業（助成）

本事業は、大学、研究機関、学会などが主催する特定テーマの比較的小規模で国際的なセミナー、シンポジウム、講演会、研修会などの学術活動に対して支援するものです。

(1) 対象学術活動

(イ) 自然科学部門 : 食の科学に関する学術活動

「食の科学」に関する学術とは、食品素材、製造・加工・調理、発酵・微生物利用、栄養・嗜好・生理機能、食の安全、疾病予防などに係る研究

(ロ) 人文科学部門 : アジア地域を対象とし、史学、哲学、文学を中心とする人文社会科学分野における学術活動（但し、日本を中心とする研究は除く）

国内で開催される海外からの参加者を含む国際的な上記学術活動で、クローズドな活動でなく外部／新たな参加者を認めるもの

なお、学術集会のうち定例的な年会や季会、および、大きな大会の一部として開催される分科会や地方支部の学術集会は原則として対象外とします。

また、同一の学術活動への助成は年度内に1回だけとします。

(2) 応募資格者 学術活動の責任者又は主催者

なお、当財団の関係者は原則として対象外とします。

(3) 助成金額

(イ) 1件 50万円を上限。活動等の規模等に応じて当財団が助成額を決定。

(ロ) 用途は、学術活動の準備・運営に掛かる一切の費用

なお、応募状況、審議の結果、該当者なしの場合もあります。

(4) 応募方法

財団所定の申請書（Word版、財団ホームページから入手可）に必要事項を記入の上、申請書及び補足資料（趣意書、開催案内等）を事務局宛に郵送してください。

(5) 申請受付期間

申込区分	受付期間	採否通知
I期	11月～4月	7月上旬
II期	5月～10月	翌年1月上旬

(6) 選考

(イ) 採択は、学術委員から意見聴取の上、理事会で決定します。

(ロ) 選考基準として以下を考慮します。

- ① 当財団の事業目的に沿ったもの
- ② 国際的な活動で、学術性が高いもの
- ③ 小規模・予算が少ないもので、国や企業等の補助や助成を得にくいもの
- ④ 若手や海外からの参加者が多いもの

(7) 採択結果

2021年第Ⅱ期 応募2件 採択1件（人文科学1件、自然科学なし）支給額50万円

2022年第Ⅰ期 応募3件 採択1件（人文科学1件、自然科学なし）支給額50万円

注) 2022年第Ⅱ期分は選考期間の関係で2023年度の支給となっています。

(8) 選考結果の通知

書面にて学術活動の責任者又は主催者に通知しました。

2022年度学術研究奨励金及び褒賞事業等 累計実績（1963(S38)年～2022(R4)年）

事業	部門	2022年度		累計		備考
		件数	贈呈金額	件数	贈呈金額	
(1)三島海雲学術賞	自然科学部門	3件	900万円	22件	4,700万円	2012(H24)年～
	人文科学部門	1件	300万円	11件	2,200万円	
三島海雲学術賞計(褒賞)		4件	1,200万円	33件	6,900万円	
(2)学術研究奨励金						
(A)個人研究奨励金	自然科学部門	54件	5,400万円	1,366件	106,105万円	1963(S38)年～
	人文科学部門	17件	1,700万円	744件	50,492万円	
小計		71件	7,100万円	2,110件	156,597万円	
(B)共同研究奨励金	自然科学部門	3件	1,500万円	18件	8,980万円	2015(H27)年～
	人文科学部門	1件	500万円	10件	3,683万円	
小計		4件	2,000万円	28件	12,663万円	
学術研究奨励金計(助成)		75件	9,100万円	2,138件	169,260万円	
(3)学術活動支援金(助成)		2件	100万円	26件	1,230万円	2013(H25)年～「その他研究支援」 2016(H28)年～「学術活動支援」
(4)大学院博士課程奨学金		-件	-万円	延27件	2,600万円	2004(H16)～2012(H24)年終了
合計		81件	10,400万円	2,224件	179,990万円	

注) 学術活動支援金の2022年度は支給ベースで記載しています。

各事業の贈呈者及び助成実績推移等は以下の資料を参照下さい。

付表1. 第60回(2022年度)学術研究奨励金 贈呈者一覧(5～8頁)

付表2. 第11回(2022年度)三島海雲学術賞 受賞者一覧(9頁)

付表3. 2022年度学術活動支援 贈呈一覧(9頁)

付表4. 学術研究奨励金 助成推移(10頁)

付図1. 学術研究奨励金 助成推移(11頁)

以上

(付表1)

第60回(2022年度)学術研究奨励金贈呈者一覧<自然科学部門>

【個人研究奨励金】

No.	「食の科学」との関連	対象分野	研究課題	氏名	所属機関	役職	年齢	性別	贈呈額(万円)
1	1.食品素材	生物学	甲殻類における脱皮に際した細胞挙動可視化系の確立	足立 晴彦	大阪大学大学院 生命機能研究科	JSPS特別 研究員/ 博士課程	27	男性	100
2	6.疾病予防	医学	糖化制御を標的とする栄養疫学視点からの統合失調症発症予防法の創出	新井 誠	東京都医学総合研究所 精神行動医学研究分野	副参事 研究員	52	男性	100
3	6.疾病予防	農学	新規胚環境操作-糖尿病モデルマウスによる臓器障害機構およびEPAの病態抑制効果の解明	石山 詩織	山梨大学 医工農学総合教育部	博士課程	27	女性	100
4	6.疾病予防	農学	ナツメ含有トリテルペノイドによる細胞老化抑制作用を介した疾患予防効果	伊藤 崇志	福井県立大学 生物資源学部	教授	43	男性	100
5	4.栄養・嗜好・生理機能	農学	幼少期のストレスが強制的摂食行動を惹起する脳内機構解明と食事介入によるその予防の可能性	井上 和生	京都大学大学院 農学研究科	教授	60	男性	100
6	4.栄養・嗜好・生理機能	医学	ポリアミン摂取による腸管幹細胞の機能改善を介した老化抑制の検討	今田 慎也	マサチューセッツ工科大学 コッホがん研究所	博士 研究員	42	男性	100
7	4.栄養・嗜好・生理機能	生活科学	食品由来ペプチドが体内酵素及び腸上皮細胞で環状化するメカニズムの解明	岩崎 優	東京家政大学 短期大学部栄養科	期限付 助教	25	女性	100
8	6.疾病予防	医学	ピロリ菌を除菌可能な食べれる人工抗菌酵素剤の研究開発	内山 淳平	岡山大学 学術研究院医歯薬学域	准教授	45	男性	100
9	6.疾病予防	生物学	ビタミンEとコエンザイムQ10によるオキシステロール誘導性細胞死抑制機構の解明	浦野 泰臣	同志社大学大学院 生命医科学研究科	准教授	46	男性	100
10	6.疾病予防	医学	中鎖脂肪酸(MCTオイル)によるレプチン抵抗性改善作用に関する研究	海老原 千尋	自治医科大学 内分泌代謝学部門	客員 研究員	41	女性	100
11	4.栄養・嗜好・生理機能	工学	原位置高効率施肥管理に向けた小型核磁気共鳴センサによるイオン成分同時定量システム	大多 哲史	静岡大学 学術院工学領域	助教	32	男性	100
12	4.栄養・嗜好・生理機能	生物学	新規バイオアッセイを利用した腸内微生物の作用メカニズムの理解	大野 速雄	日本女子大学 理学部	講師	36	男性	100
13	6.疾病予防	農学	認知機能低下に影響を与える脳内因子の探索：機能性脂質によるアルツハイマー病予防法の構築を目指して	乙木 百合香	東北大学 農学部	助教	33	女性	100
14	4.栄養・嗜好・生理機能	神経科学	「食の記憶」の生成と強化メカニズム	甲斐 信行	獨協医科大学 先端医科学研究センター	助教	53	男性	100
15	6.疾病予防	医学	大腸がんの死亡率低下に寄与する腸内環境の解明および次世代プロバイオティクスの開発	片岡 温子	埼玉医科大学 国際医療センター	助教	35	女性	100
16	3.発酵・微生物利用	農学	乳酸菌類の生産する新奇多糖類の食品応用 ～誤嚥防止食材の開発を目指して～	金内 誠	宮城大学大学院 食産業学研究科	教授	50	男性	100
17	4.栄養・嗜好・生理機能	実験動物学	生きた動物の消化機能の光操作法開発	金子 涼輔	大阪大学大学院 生命機能研究科	准教授	48	男性	100
18	4.栄養・嗜好・生理機能	農学	ビタミンB6の筋衛星細胞および筋再生に与える影響、およびサルコペニア予防への応用	Kumrungsee Thanutchaporn	広島大学大学院 統合生命科学研究科	准教授	37	女性	100
19	4.栄養・嗜好・生理機能	農学	低栄養性脂肪肝の発症における「筋肝連関」の役割の解明	亀井 康富	京都府立大学大学院 生命環境科学研究科	教授	55	男性	100
20	5.食の安全	生物学	食中毒や食物アレルギーの回避を目指す家庭内分析技術の創出	北口 哲也	東京工業大学 科学技術創成研究院	准教授	50	男性	100
21	5.食の安全	薬学	糖鎖生物学を基盤としたノロウイルス感染機構の解明	紅林 佑希	静岡県立大学大学院 薬学研究科	助教	35	男性	100
22	1.食品素材	生物学	冷凍品の品質保持に有用な食用キノコ不凍タンパク質の構造構築原理の解明	近藤 英昌	産業技術総合研究所 生物プロセス研究部門	主任 研究員	54	男性	100

【個人研究奨励金】

No.	「食の科学」との関連	対象分野	研究課題	氏名	所属機関	役職	年齢	性別	贈呈額(万円)
23	6.疾病予防	医学	コリン添加による肝疾患改善メカニズムの解明	西條 栄子	東京大学 定量生命科学研究所	技術 専門職員	46	女性	100
24	6.疾病予防	生物学	ミリスチン酸による生活習慣病/肥満・骨格筋減少・鬱/ 認知症・感染症・癌の総合予防	坂根 郁夫	千葉大学大学院 理学研究院	教授	62	男性	100
25	5.食の安全	工学	食の安全性を担保する高精度遺伝子編集技術の確立	迫野 昌文	富山大学大学院 理工学研究所	准教授	47	男性	100
26	6.疾病予防	農学	サルコペニア予防を目指した骨格筋萎縮抑制食品成分の 探索	澤野 祥子	麻布大学 生命・環境科学部	准教授	45	女性	100
27	4.栄養・嗜好・生理機能	医学	エネルギー代謝調節に関わる新規脳内因子による食嗜好 制御メカニズムの解明	鹿野 健史朗	大分大学 医学部	助教	32	男性	100
28	4.栄養・嗜好・生理機能	農学	反芻家畜の非侵襲的な栄養代謝モニタリングにおけるポリ アミンの有効性の検討	白石 純一	日本獣医生命科学大学 応用生命科学部	講師	39	男性	100
29	4.栄養・嗜好・生理機能	農学	回腸を標的とするピログルタミルペプチドによる腸内細菌 叢改善作用メカニズムの解明	白子 紗希	立命館大学 生命科学部	助教	29	女性	100
30	2.製造・加工・調理	工学	不溶性食物繊維の生理機能と食感を制御する新規加工技 術の開発	鈴木 菜	北海道大学大学院 農学研究院	助教	31	女性	100
31	4.栄養・嗜好・生理機能	薬学	機能性食品成分の中樞神経再生における機能解析	関根 勇一	京都薬科大学 薬学部	講師	41	男性	100
32	6.疾病予防	医学	農作物に含まれる化合物によるインスリン分泌促進メカ ニズムの解明	田口 昭彦	山口大学大学院 医学系研究科	助教	45	男性	100
33	4.栄養・嗜好・生理機能	農学	非活動期における脂肪酸代謝を高める食品成分の探索と その作用比較	田中 誠也	東京海洋大学 学術研究院食品生産科学部門	助教	31	男性	100
34	6.疾病予防	農学	食習慣が腸管抗体レバトアに及ぼす影響の解析	近澤 未歩	名城大学 農学部	助教	34	女性	100
35	5.食の安全	農学	免疫細胞のBlood-milk barrier通過機構に着目した乳中体 細胞数の調節と乳質の向上を目指す研究	津上 優作	広島大学大学院 統合生命科学研究所	助教	28	男性	100
36	3.発酵・微生物利用	生物学	乳酸菌における新規遺伝暗号翻訳システムの探索	富川 千恵	愛媛大学大学院 理工学研究所	特任講師	44	女性	100
37	6.疾病予防	農学	超小型MEMSセンサを活用した着け心地のよいウシ用ス トレスセンサ端末	野上 大史	九州大学大学院 工学研究院	助教	40	男性	100
38	3.発酵・微生物利用	農学	酵母における発酵経路酵素の細胞内局在性の制御とその 生理機能の解析	野村 亘	京都大学大学院 農学研究科	研究員	42	男性	100
39	4.栄養・嗜好・生理機能	農学	ビタミンが子宮細胞に与える影響の検証	唄 花子	北海道大学大学院 農学研究院	助教	37	女性	100
40	4.栄養・嗜好・生理機能	生物学	糖質摂取とその代謝調節が胎児の生殖細胞形成に与える 影響とその仕組み	林 陽平	東北大学 加齢医学研究所	助教	39	男性	100
41	4.栄養・嗜好・生理機能	生体分子科学	分子シミュレーションに基づくヒト由来味覚受容体の味 物質認識メカニズムの解明	原田 隆平	筑波大学 計算科学研究センター	准教授	40	男性	100
42	4.栄養・嗜好・生理機能	健康・スポーツ科学	Palmitic acid metabolism regulates muscle stem cell function	Valentine William	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所	Research Fellow	55	男性	100
43	6.疾病予防	医学	アニサキス症における胃での好酸球を介した免疫応答活 性化機構と劇症化因子の解明	飛弾野 真也	国立国際医療研究センター研究所 肝炎・免疫研究センター	上級 研究員	42	男性	100
44	6.疾病予防	農学	難吸収性ポリフェノールの腸脳相関作用を介した食行動 および代謝機能調節機構の解明	廣直 賢勇	神戸大学大学院 農学研究科	博士課程	26	男性	100

【個人研究奨励金】

No.	「食の科学」 との関連	対象 分野	研究課題	氏名	所属機関	役職	年 齢	性別	贈呈額 (万円)
45	5.食の安全	農学	Innovative meal: evaluation of immersion vacuum cooled sausages stuffed in a new novel casing formulation with flavonoids extracted from waste orange peel based on hyperspectral imaging	FENG CHAOHUI	北見工業大学 地域未来デザイン工学科	助教	35	女性	100
46	3.発酵・微生物 利用	農学	鯉節の製造に使用されるカビが有性生殖する能力を失う現象の解明	二神 泰基	鹿児島大学 農学部	准教授	41	男性	100
47	4.栄養・嗜好・生 理機能	薬学	女性におけるVitamin D 状態の評価と胎盤機能との関連性	古堅 彩子	北海道大学大学院 薬学研究院	助教	36	女性	100
48	4.栄養・嗜好・生 理機能	生活科学	タンパク質に対する食欲制御機構の解明	松居 翔	京都大学大学院 農学研究科	助教	37	男性	100
49	3.発酵・微生物 利用	工学	局所強電場を用いる微生物利用技術の革新と機能性食品生産への応用	三重 安弘	産業技術総合研究所 生物プロセス研究部門	研究グループ長	49	男性	100
50	4.栄養・嗜好・生 理機能	歯学	口腔疾患がMalnutrition Inflammation Atherosclerosis (MIA)症候群を介して透析患者の生命予後に与える影響	三上 理沙子	東京医科歯科大学 大学病院（歯系）	特任助教	33	女性	100
51	4.栄養・嗜好・生 理機能	医学	胎児期からの低栄養による腸内細菌叢異常を介した子供の神経発達異常メカニズムの解明	三宅 邦夫	山梨大学 医学部	准教授	44	男性	100
52	4.栄養・嗜好・生 理機能	神経科学	食感覚による消化器反応の神経機構の機能解剖学的解析	村田 航志	福井大学 学術研究院医学系部門	助教	39	男性	100
53	4.栄養・嗜好・生 理機能	医学	ビタミン D による T 細胞免疫の機能制御と栄養条件の体系的解析	森 真弓	神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター	特任主任 研究員	38	女性	100
54	6.疾病予防	医学	植物性たんぱく質摂取による慢性腎臓病患者のサルコペニア予防	吉岡 将輝	筑波大学大学院 人間総合科学学術院	博士課程	26	男性	100
自然科学部門 応募件数 252件					贈呈件数 54件	贈呈金額 5,400万円			

【共同研究奨励金】

No.	「食の科学」 との関連	対象 分野	研究課題	代表研究者	所属機関	役職	年 齢	共同 研究 者数	贈呈額 (万円)
1	6. 疾病予防	医学	食事による自律神経制御で目指す免疫力の活性化	安部 力	岐阜大学大学院 医学系研究科	准教授	42	3	500
2	5. 食の安全	生物学	難消化性多糖類のメタボリックシンドロームへの関与とそのメカニズムの解析	小野寺 康仁	北海道大学大学院 医学研究院	准教授	43	3	500
3	4. 栄養・嗜好・ 生理機能	腫瘍学	アミノ酸が細胞外小胞分泌に与える影響の解明と疾患治療への応用研究	山本 雄介	国立がん研究センター研究所 病態情報学ユニット	独立ユ ニット長	40	2	500
自然科学部門 応募件数 21件					贈呈件数 3件	贈呈金額 1,500万円			

自然科学部門 贈呈金額合計 6,900万円
(所属・役職は申請時、五十音順、敬称略)

第 60 回 (2022 年度) 学術研究奨励金贈呈者一覧 (人文科学部門)

【個人研究奨励金】

No	対象分野	研究課題	氏名	所属機関名称	役職	年齢	性別	贈呈額 (万円)
1	文学	仏典の翻訳・校正マニュアル『賢者の源』のチベット・モンゴル語のテキスト校訂	ありるでい ぼるまあ	大谷大学	研究生	37	女性	100
2	文化人類学	モンゴル族にとってラクダとは何か?—極乾燥地の人—動物関係と牧畜文化の民族誌的研究	WU WUYUNGA	総合研究大学院大学	博士課程	31	女性	100
3	地域研究	星辰崇拜の様相について：古代メソポタミア文明期からイスラーム期までの連続と変容	江原 聡子	東京大学大学院 総合文化研究科	博士課程	52	女性	100
4	文化人類学	無常鬼の研究——中国をフィールドとした妖怪学の試み	大谷 亨	東北大学大学院 国際文化研究科	博士課程	32	男性	100
5	史学	クメール建築の連子子における美術史ならびに建造技術的特質	岡崎 伸哉	日本工業大学大学院 工学研究科	博士課程	25	男性	100
6	史学	古代東アジアにおける「辺境島嶼」支配と入境管理体制の研究	柿沼 亮介	早稲田大学高等学院	教諭	36	男性	100
7	史学	モンゴルにおける西洋からの宣教師たちの医療衛生活動に関する史料研究	近衛 飛鳥	千葉工業大学	助教	37	女性	100
8	史学	モンゴル高原所在の古代トルコ語碑文に対する文献学的研究	齊藤 茂雄	帝京大学 文化財研究所	講師	41	男性	100
9	史学	欧州冷戦と中国：中国の「ドイツ問題」関与と対東西ドイツ政策 1949～1965	邵 天澤	京都大学大学院 人間・環境学研究所	博士課程	33	男性	100
10	史学	満洲における日系漢字新聞をめぐる研究—『盛京時報』を中心に	徐 璐	京都大学大学院 文学研究科入学	博士課程	32	女性	100
11	地域研究	モンゴル国における伝統的牧畜の継承に関する研究—進学と職業選択に着目して—	中村 絵里	千葉大学 未来医療教育研究機構	特任助教	48	女性	100
12	史学	1990年代韓国における分断と反共独裁の記憶をめぐる葛藤—進歩派の記憶変遷を中心に—	Vierthaler Patrick	京都大学 文学研究科	博士課程	31	男性	100
13	言語学	オーストロネシア諸語の記述文法作成に向けた民話・談話・用例テキストの保存	深谷 康佳	広島大学 文学部	博士課程	32	女性	100
14	史学	インダス文明期小規模遺跡を対象とした、土器の生産と流通に関する学際的研究	三木 健裕	東京大学 総合研究博物館	特任助教	34	男性	100
15	史学	ダイチン・グルン(大清国)江南地域における駐防八旗研究	葉 勝	京都大学	博士課程	29	男性	100
16	芸術学	元時代の水墨人物画の研究—画僧による作品を中心に	李 宜燾	九州大学大学院 人文科学府	博士課程	39	女性	100
17	史学	戦間期ソ連・イラン関係史	李 優大	東京大学大学院 法学政治学研究科	博士課程	28	男性	100
人文科学部門 応募件数 75件				贈呈件数 17件		贈呈金額 1,700万円		

【共同研究奨励金】

No	対象分野	研究課題	代表研究者	所属機関名称	役職	年齢	共同研究者数	贈呈額 (万円)
1	史学	五言語合璧「普度明太祖長卷」(15世紀)の言語文献学・美術史的研究	松川 節	大谷大学 社会学部	教授	61	10	500
人文科学部門 応募件数 7件				贈呈件数 1件		贈呈金額 500万円		

人文科学部門 贈呈金額合計 2,200万円

(所属・役職は申請時、五十音順、敬称略)

(付表2)

第11回(2022年度)三島海雲学術賞受賞者

【自然科学部門】

受賞者	受賞テーマ	所属機関	役職	年齢	推薦者
應本 真	味細胞種の多様性を産出する分子機構	高崎健康福祉大学 健康福祉学部 健康栄養学科	講師	43	日本味と匂学会 会長 吉原 良浩
鈴木 隆史	ファイトケミカル感知と生体防御機構の分子基盤	東北大学大学院 医学系研究科 医科学分野	准教授	42	日本生化学会 会長 菊池 章
戸田 安香	新規機能解析技術を用いた嗜好味受容体T1Rの機能と食物成分との関わり の解明	明治大学 農学部 農芸化学科 食品機能化学研究室	特任 講師	38	日本農芸化学会 会長 松山 旭

【人文科学部門】

受賞者	受賞テーマ	所属	役職	年齢	推薦者
河合 洋尚	<客家空間>の生産-梅県における「原郷」創出の民族誌-	東京都立大学 人文社会学部 社会人類学教室	准教授	43	株式会社風響社 代表取締役 石井 雅

(付表3)

2022年度 学術活動支援 贈呈一覧(本年度支給分)

	2021年 第Ⅱ期	2022年 第Ⅰ期
活動の名称	みんなくゼミナール「ドキュメンタリー 写真家インジナーシの見た現代モンゴル」 インジナーシ×港千尋×川瀬慈	第5回国際フィリピン研究会議
部門	人文科学部門	人文科学部門
開催責任者	国立民族学博物館 准教授 島村一平	東京大学大学院総合文化研究所 教授 岡田泰平
開催時期	2022年3月19日	2022年11月26~27日
開催場所・形式	国立民族学博物館 講堂 (福岡市)	東京大学駒場キャンパス
参加予定者数	3名(海外1名) ※観客除く	140~220名(海外70~120名)
助成金額	50万円	50万円

(付表4)

学術研究奨励金 助成推移

第1回(1963年(昭和38年))～第60回(2022年(令和4年))

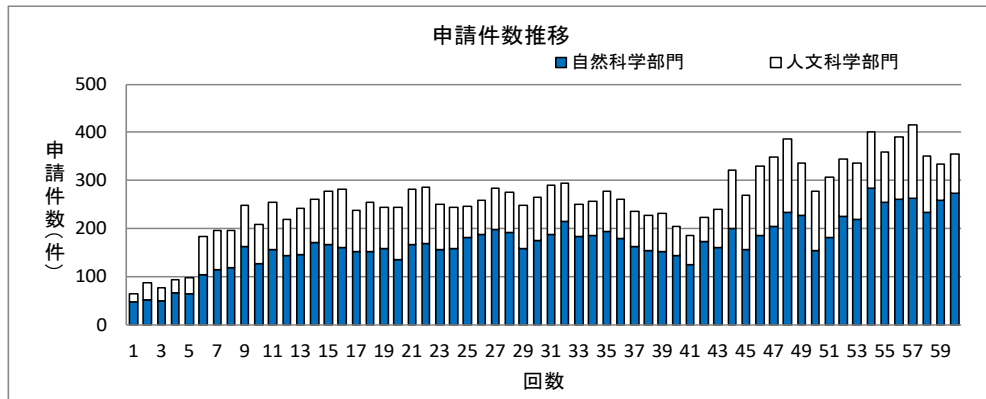
(第53回～共同研究含む、奨学金、学術賞、学術活動支援を除く) (単位:金額 万円)

区分		学術研究奨励金(個人研究+共同研究)												
部門		自然科学				人文科学				合計				
回数	年度	申請件数	採択件数	採択率	贈呈金額	申請件数	採択件数	採択率	贈呈金額	申請件数	採択件数	採択率	贈呈金額	
1	昭和38	1963	48	2	4.2	149	16	1	6.3	1,000	64	3	4.7	1,149
2	39	1964	53	5	9.4	503	35	5	14.3	310	88	10	11.4	813
3	40	1965	49	7	14.3	435	28	4	14.3	250	77	11	14.3	685
4	41	1966	67	9	13.4	558	27	6	22.2	300	94	15	16.0	858
5	42	1967	64	14	21.9	1,830	35	6	17.1	310	99	20	20.2	2,140
6	43	1968	105	20	19.0	1,210	78	11	14.1	550	183	31	16.9	1,760
7	44	1969	115	21	18.3	1,400	81	15	18.5	800	196	36	18.4	2,200
8	45	1970	118	24	20.3	1,400	78	10	12.8	600	196	34	17.3	2,000
9	46	1971	162	27	16.7	1,400	86	11	12.8	600	248	38	15.3	2,000
10	47	1972	128	24	18.8	1,400	80	10	12.5	600	208	34	16.3	2,000
11	48	1973	156	25	16.0	1,400	99	9	9.1	662	255	34	13.3	2,062
12	49	1974	143	29	20.3	1,500	77	8	10.4	700	220	37	16.8	2,200
13	50	1975	147	29	19.7	1,540	95	9	9.5	660	242	38	15.7	2,200
14	51	1976	171	26	15.2	1,400	89	9	10.1	600	260	35	13.5	2,000
15	52	1977	166	27	16.3	1,400	111	8	7.2	600	277	35	12.6	2,000
16	53	1978	161	26	16.1	1,400	120	9	7.5	600	281	35	12.5	2,000
17	54	1979	153	28	18.3	1,400	86	9	10.5	600	239	37	15.5	2,000
18	55	1980	152	28	18.4	1,400	103	11	10.7	600	255	39	15.3	2,000
19	56	1981	158	28	17.7	1,400	86	15	17.4	600	244	43	17.6	2,000
20	57	1982	135	25	18.5	1,390	110	13	11.8	600	245	38	15.5	1,990
21	58	1983	166	25	15.1	1,410	116	13	11.2	600	282	38	13.5	2,010
22	59	1984	168	25	14.9	1,400	119	14	11.8	600	287	39	13.6	2,000
23	60	1985	157	28	17.8	1,400	93	14	15.1	600	250	42	16.8	2,000
24	61	1986	158	20	12.7	1,400	87	14	16.1	600	245	34	13.9	2,000
25	62	1987	181	20	11.0	1,400	66	12	18.2	600	247	32	13.0	2,000
26	63	1988	187	21	11.2	1,470	72	14	19.4	700	259	35	13.5	2,170
27	平成1	1989	198	21	10.6	1,470	86	14	16.3	700	284	35	12.3	2,170
28	2	1990	191	20	10.5	1,400	85	12	14.1	600	276	32	11.6	2,000
29	3	1991	159	20	12.6	1,400	89	12	13.5	600	248	32	12.9	2,000
30	4	1992	176	20	11.4	1,400	90	12	13.3	600	266	32	12.0	2,000
31	5	1993	187	20	10.7	1,400	104	12	11.5	600	291	32	11.0	2,000
32	6	1994	215	20	9.3	1,400	80	12	15.0	600	295	32	10.8	2,000
33	7	1995	184	18	9.8	1,260	66	11	16.7	550	250	29	11.6	1,810
34	8	1996	186	16	8.6	1,120	71	10	14.1	500	257	26	10.1	1,620
35	9	1997	195	16	8.2	1,120	83	10	12.0	500	278	26	9.4	1,620
36	10	1998	180	16	8.9	1,120	81	10	12.3	500	261	26	10.0	1,620
37	11	1999	163	16	9.8	1,120	72	10	13.9	500	235	26	11.1	1,620
38	12	2000	155	16	10.3	1,120	72	10	13.9	500	227	26	11.5	1,620
39	13	2001	153	18	11.8	1,260	79	11	13.9	550	232	29	12.5	1,810
40	14	2002	143	13	9.1	1,300	62	8	12.9	560	205	21	10.2	1,860
41	15	2003	125	13	10.4	1,300	60	8	13.3	560	185	21	11.4	1,860
42	16	2004	174	14	8.0	1,320	49	6	12.2	420	223	20	9.0	1,740
43	17	2005	160	14	8.8	1,400	81	8	9.9	560	241	22	9.1	1,960
44	18	2006	200	14	7.0	1,400	121	12	9.9	840	321	26	8.1	2,240
45	19	2007	157	19	12.1	1,900	112	19	17.0	1,330	269	38	14.1	3,230
46	20	2008	186	20	10.8	2,000	143	21	14.7	1,470	329	41	12.5	3,470
47	21	2009	205	20	9.8	2,000	143	19	13.3	1,330	348	39	11.2	3,330
48	22	2010	234	19	8.1	1,900	153	18	11.8	1,260	387	37	9.6	3,160
49	23	2011	228	22	9.6	2,200	108	15	13.9	1,050	336	37	11.0	3,250
50	24	2012	155	18	11.6	1,800	123	20	16.3	1,400	278	38	13.7	3,200
51	25	2013	181	20	11.0	2,000	125	20	16.0	1,400	306	40	13.1	3,400
52	26	2014	226	27	11.9	2,700	118	21	17.8	1,470	344	48	14.0	4,170
53	27	2015	220	36	16.4	4,400	116	20	17.2	2,300	336	56	16.7	6,700
54	28	2016	284	39	13.7	4,700	116	17	14.7	2,100	400	56	14.0	6,800
55	29	2017	254	38	15.0	4,600	109	18	16.5	2,090	363	56	15.4	6,690
56	30	2018	262	41	15.6	4,880	128	18	14.1	2,180	390	59	15.1	7,060
57	令和1	2019	264	41	15.5	4,900	151	22	14.6	2,461	415	63	15.2	7,361
58	2	2020	233	42	18.0	5,000	118	23	19.5	2,600	351	65	18.5	7,600
59	3	2021	259	57	22.0	6,900	75	17	22.7	2,052	334	74	22.2	8,952
60	4	2022	273	57	20.9	6,900	82	18	22.0	2,200	355	75	21.1	9,100
計			10,233	1,384	13.5	115,085	5,424	754	13.9	54,175	15,657	2,138	13.7	169,260

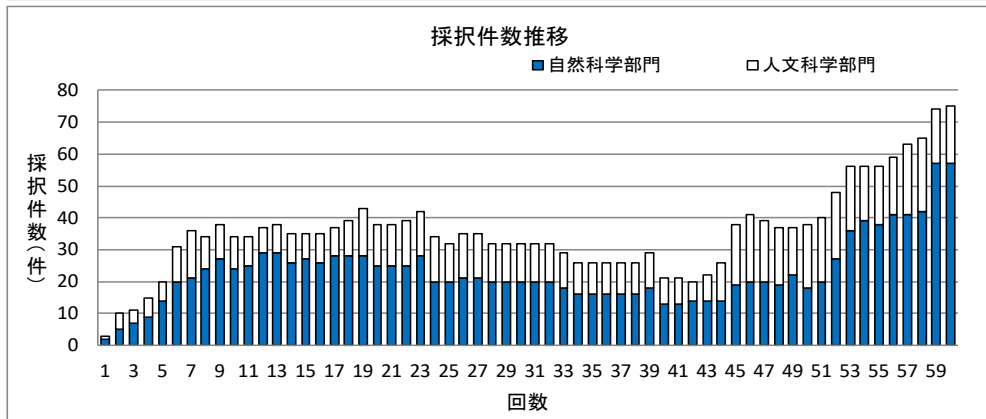
(付図 1)

学術研究奨励金 助成推移 (共同研究含む第 53 回～、奨学金を除く)

第 1 回(1963 年(昭和 38 年))～第 60 回(2022 年(令和 4 年))

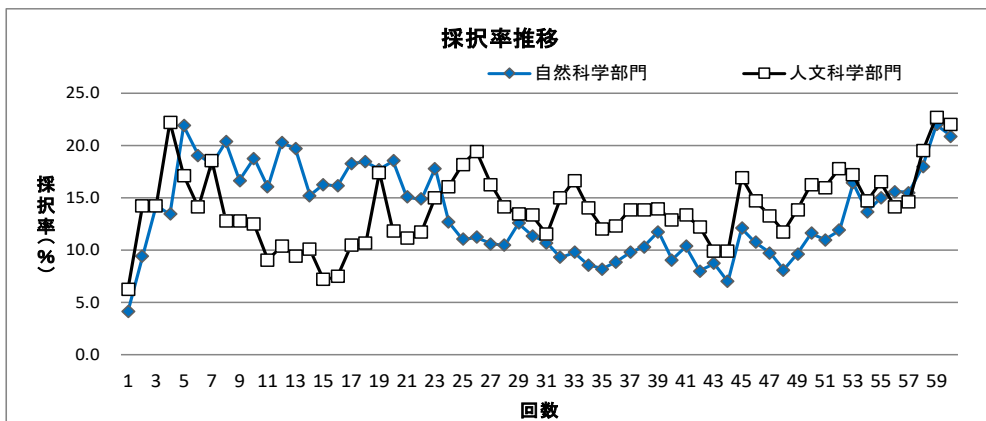


(2022年度)
自然科学 273件
人文科学 82件
計 355件



(2022年度)
自然科学 57件
人文科学 18件
計 75件

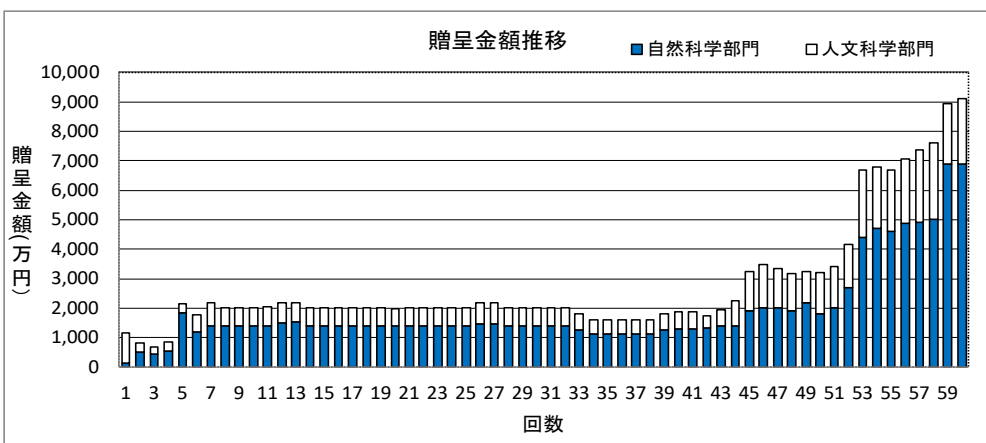
(累計)
自然科学 1,384件
人文科学 754件
計 2,138件



(2022年度)
自然科学 20.9%
人文科学 22.0%

(平均採択率)
21.1%

53回より
自然・人文の1件
当たり助成を
同額にした
(総額比率は変えず)



(2022年度)
自然科学
6,900万円
人文科学
2,200万円
(合計)
9,100万円

(累計)
169,260万円

2. 業務及び職務の執行状況

2022年度の業務執行に関する事項は以下の通りです。

1) 評議員・役員・委員に関する事項

付表5、6（16～17ページ）をご参照ください。

2) 理事会・評議員会等に関する事項

(1) 理事会（開催回数：理事会5回開催）

回	開催日	決議事項	報告事項
第66回	理事会（臨時）	（決議の省略による方法）	
	1月14日	第1号議案 「2021年度第Ⅱ期学術活動支援」贈呈者承認の件 <理事全員から承認を得た。監事からの異議はなかった。>	
第67回	理事会（通常）	（オンラインを併用したハイブリッド会議）	
	2月22日 如水会館	第1号議案 第25回評議員会（定時）招集の件 第2号議案 2021年度事業報告及び附属明細書承認の件 第3号議案 2021年度財産・損益の状況及び附属明細書承認の件 第4号議案 資産管理運用規程改定及び有価証券等の運用基準制定の件 第5号議案 資産管理委員会規則改定の件 第6号議案 資産管理運用責任者任命の件 第7号議案 学術研究奨励金等に関する施行規則改定の件 第8号議案 電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程制定の件 第9号議案 役員損害賠償責任保険更新の件 第10号議案 2021年度事業報告書等の提出書類承認の件 <いずれも異議なく承認された>	1. 2021年度業務及び職務の執行状況報告 2. 2021年度資産管理運用状況及び2022年度資産運用基本方針について 3. 基本財産の株式等の議決権行使について 4. 60周年記念施策について
第68回	理事会（臨時）	（決議の省略による方法）	
	4月19日	第1号議案 第11回（2022年度）三島海雲学術賞受賞者承認の件 <理事全員から承認を得た。監事からの異議はなかった。>	
第69回	理事会（臨時）	（決議の省略による方法）	
	6月6日	第1号議案 「第60回（2022年度）学術研究奨励金」贈呈者等承認の件 第2号議案 「2022年度第Ⅰ期学術活動支援」贈呈者等承認の件 <理事全員から承認を得た。監事からの異議はなかった。>	
第70回	理事会（通常）		
	12月6日 ウェスティンホテル 東京	第1号議案 第26回評議員会（臨時）招集の件 第2号議案 2023年度事業計画承認の件 第3号議案 2023年度収支（損益）予算承認の件 第4号議案 学術委員1名委嘱の件 第5号議案 個人情報管理規程改定の件 第6号議案 2023年度資産運用基本方針及び資産運用計画承認の件 <いずれも異議なく承認された>	1. 2022年度業務執行状況（中間）報告 2. 2022年度資産管理運用状況について

(2) 監査（於 財団会議室）

1回	2月1日	1. 2021年度事業報告及び附属明細書に関する事項 2. 2021年度財産及び損益の状況及び附属明細書に関する事項
2回	9月30日	1. 2022年度事業並びに業務に関する事項 2. 2023年度事業計画案について 3. 2023年度収支（損益）予算案について 4. 2023年度資産運用方針及び計画案について

(3) 評議員会（開催回数：評議員会 2 回開催）

回	開催日	決議事項	報告事項
第 25 回	評議員会（定時）（決議の省略による方法）		
	3 月 9 日	第 1 号議案 2021 年度事業報告及び附属明細書承認の件 第 2 号議案 2021 年度財産・損益の状況及び附属明細書承認の件 <評議員全員から書面による承認が得られた>	1. 資産管理運用規程改定及び有価証券等の運用基準制定について 2. 資産管理委員会規則改定について 3. 資産管理運用責任者任命について 4. 学術研究奨励金等に関する施行規則改定について 5. 電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程制定について 6. 役員損害賠償責任保険更新について 7. 2021 年度事業報告書等の提出書類について 8. 2021 年度業務及び職務の執行状況報告 9. 2021 年度資産管理運用状況及び 2022 年度資産運用基本方針について 10. 基本財産の株式等の議決権行使について 11. 60 周年記念施策について
第 26 回	評議員会（臨時）		
	12 月 6 日 ウェスティンホテル 東京		1. 2023 年度事業計画について 2. 2023 年度収支（損益）予算について 3. 2023 年度資産運用基本方針及び資産運用計画について 4. 学術委員 1 名委嘱について 5. 個人情報管理規程改定について 6. 2022 年度業務執行状況（中間）報告 7. 2022 年度資産管理運用状況について

3) 学術委員会・選考委員会に関する事項

(1) 選考委員会（開催回数：自然科学部門 3 回、人文科学部門 3 回開催）

2022 年度	3 月 24 日	「第 11 回三島海雲学術賞二次選考委員会」（人文科学部門）（追加査読後 1 名選考） （オンラインを併用したハイブリッド会議）
	3 月 28 日	「第 11 回三島海雲学術賞二次選考委員会」（自然科学部門）（3 名選考） （オンライン会議）
	5 月 25 日	「第 60 回学術研究奨励金」（自然科学部門）（個人研究 54 名、共同研究 3 件選考） 「2022 年度第 I 期学術活動支援（自然科学部門）（意見聴取） （オンライン会議）
	5 月 26 日	「第 60 回学術研究奨励金」（人文科学部門）（個人研究 17 名、共同研究 1 件選考） 「2022 年度第 I 期学術活動支援（人文科学部門）（意見聴取） （オンライン会議）
2023 年度	12 月 8 日	「第 12 回三島海雲学術賞一次選考委員会」（人文科学部門） （オンライン会議）
	12 月 22 日	「第 12 回三島海雲学術賞一次選考委員会」（自然科学部門） （オンライン会議）

(2) 学術委員会（開催回数：自然科学部門1回、人文科学部門1回開催）

自然科学部門	10月20日	1. 学術委員長選任の件 2. 学術委員1名委嘱について 3. 2022年度研究助成事業報告 4. 2023年度事業計画(案)について 5. 2023年度収支(損益)予算(案)について
人文科学部門	10月24日	1. 2022年度研究助成事業報告 2. 2023年度事業計画(案)について 3. 2023年度収支(損益)予算(案)について 4. その他(学術委員長代行選任の件)

(3) 贈呈式

贈呈式は、新型コロナの感染状況を勘案し、7月8日に一部の代表者をお招きして贈呈式・受賞講演会を開催し、その模様は事前登録した関係者に同時Web配信しました。

4) 資産管理委員会に関する事項

(1) 資産管理委員会

第38回	2月4日	1. 資産管理運用規程等の改定、有価証券等の運用基準設定、及び、資産管理委員会規則改定の再上程案について 2. 2021年度事業報告(案)及び決算(案)について 3. 2021年度資産管理運用状況及び2022年度資産運用基本方針について
第39回	6月17日	1. 2022年度資産管理運用状況報告 2. 不動産賃貸事業について
第40回	10月12日	1. 2022年度資産管理運用状況(2022年8月31日現在) 2. 2023年度資産運用基本方針及び資産運用計画について 3. 2023年度収支予算(案)について 4. 今後の資産管理委員会のスケジュール
第41回	12月16日	1. 2023年度資産運用基本方針及び資産運用計画、並びに、2023年度収支予算の理事会承認について 2. 2022年度資産管理運用状況(2022年11月30日現在) 3. 2023年度資産運用計画 (書面による報告)

(2) 資産管理運用の状況について

<2022年度資産管理運用状況の詳細は、別途報告します。>

5) 登記などに関する事項

2022年3月24日 評議員退任に伴う登記

6) 内閣府認定等委員会届出等に関する事項

月 日	届け・提出等
3月17日	2021年度事業報告等の提出
3月30日	役員変更の届出
12月21日	2023年度事業計画・収支予算の提出

7) 契約に関する事項

重要な契約はなし

8) 財団設立 60 周年記念施策

2022 年は財団設立 60 周年に当たります。50 周年と言った大きな区切りの年ではありませんが、100 周年に歩みを進める小区切りとして、下記の 60 周年施策を実施しました。

(1) 三島海雲学術賞強化

若手の最高賞として副賞を現行の 200 万円から 300 万円に増額しました。

(2) 記念学術講演

財団学術委員 2 名による財団創立 60 周年記念学術講演を 8 月 1 日から 8 月 30 日までホームページにてオンライン公開しました。

< 講演者およびにて講演テーマ >

羽田正氏（人文科学部門）「三島海雲と羽田亨」

清水誠氏（自然科学部門）「感染防御における食の役割－免疫の視点から考える－」

(3) 財団設立 60 周年資料集の発刊

50 周年からの活動記録として、「五十年のあゆみ」の資料編の 50 周年から 10 年間分の増補版を制作し、11 月に発刊しました。

(4) 「三島海雲『初恋五十年』甘くて酸っぱい人生遍歴」の増刷

「初恋五十年」（現在在庫僅少）を増刷し、受賞者・受贈者への進呈を継続しました。

(5) 奨励金申請の完全電子化

学術研究奨励金の申請・審査・報告を電子化しました。（これまでは申請の登録のみ電子化していました。）

9) その他の重要事項

(1) 共同研究報告会（学術委員会と同日開催）

自然科学部門 10 月 20 日 共同研究奨励金受贈 2021 年度 3 件

(2) 年次報告書の発行

11 月	2022 年度「年次報告書」発行	発行部数	370 部
------	------------------	------	-------

注) 年次報告書には研究概要を掲載し、研究報告書は電子媒体にて保管。

(3) 普及広報

三島海雲学術賞の受賞・応募および財団創立 60 周年記念オンライン講演の告知広告を 7 月 26～28 日に朝日・読売新聞（東阪）と主要地方紙 7 紙に掲載しました。

(4) 財団所蔵史料の整理

羽田亨博士書簡、杉村楚人冠書簡に続き、坂口謹一郎博士の筆耕を実施しました。

(5) その他の事項

2022 年 6 月 5 日に財団の元副理事長並びに学術委員の稲神馨氏をご逝去されました。稲神氏は、1995 年 1 月から 2001 年 11 月まで理事に、2001 年 11 月から 2007 年 12 月まで副理事長に、1983 年 6 月から 2003 年 12 月まで学術委員にご就任いただき、財団の発展にご尽力いただきました。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

以 上

(付表5)

評議員・役員・顧問 名簿

(2022年12月31日現在) 敬称略

職名	常勤・非常勤	氏名	現職
----	--------	----	----

評議員(10名)

評議員会 会長	非常勤	石毛 直道	国立民族学博物館名誉教授・元館長
評議員	非常勤	西川 孝純	元共同通信社論説委員長
評議員	非常勤	清水 孝雄	国立国際医療研究センター プロジェクト長 微生物科学研究所長／東京大学名誉教授
評議員	非常勤	清水 誠	東京農業大学客員教授 東京大学名誉教授
評議員	非常勤	谷口 直之	大阪国際がんセンター研究所長 大阪大学名誉教授
評議員	非常勤	塚本 隆史	みずほフィナンシャルグループ名誉顧問 元みずほフィナンシャルグループ取締役社長・会長
評議員	非常勤	寺田 篤	元株式会社電通ラジオテレビ&エンタテインメント 局長
評議員	非常勤	羽田 正	東京大学副学長・東京カレッジ長 東京大学名誉教授
評議員	非常勤	濱田 正美	神戸大学名誉教授 京都大学名誉教授
評議員	非常勤	西村 秀豊	元カルピス株式会社取締役執行役員

理事(9名)

理事長 (代表理事)	非常勤	今関 博	元カルピス株式会社取締役副社長
副理事長	非常勤	上野川修一	東京大学名誉教授
副理事長	非常勤	間野 英二	龍谷大学客員教授 京都大学名誉教授 日本学士院会員
理事	非常勤	山本 匠	元パンピー食品株式会社取締役社長
理事	非常勤	和田 一郎	牛嶋・和田・藤津法律事務所 弁護士
理事	非常勤	齋藤 芳男	元カルピス株式会社常務執行役員
理事	非常勤	時野谷 健	元カルピス株式会社常勤監査役
理事	非常勤	中村 長松	元公益財団法人三島海雲記念財団常務理事
常務理事	常勤	山田 誠	公益財団法人三島海雲記念財団常務理事

監事(2名)

監事	非常勤	打越 誠	淡路マテリア株式会社顧問
監事	非常勤	齋藤 正三	齋藤会計事務所 公認会計士・税理士

顧問(1名)

顧問	非常勤	太田 達男	公益財団法人公益法人協会会長
----	-----	-------	----------------

名誉顧問(1名)

名誉顧問	非常勤	小林 公生	元カルピス株式会社取締役社長・会長
------	-----	-------	-------------------

(付表6)

学術委員 名簿

(2022年12月31日現在) 敬称略

職名	氏名	現職
自然科学部門 (9名)		
学術委員	清水 誠	東京農業大学客員教授 東京大学名誉教授
学術委員	阿部 啓子	東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授 東京大学名誉教授
学術委員	石見 佳子	東京農業大学総合研究所教授
学術委員	伊藤喜久治	元東京大学教授
学術委員	谷口 直之	大阪国際がんセンター研究所長 大阪大学名誉教授
学術委員	難波 成任	東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授 東京大学名誉教授
学術委員	伏木 亨	甲子園大学副学長・教授 京都大学名誉教授
学術委員	山本 直之	東京工業大学生命理工学院教授
学術委員	和田 俊	東京海洋大学名誉教授

人文科学部門 (5名)

学術委員	岸本 美緒	お茶の水女子大学名誉教授
学術委員	赤松 明彦	京都大学白眉センター長 京都大学名誉教授
学術委員	小長谷有紀	日本学術振興会監事 国立民族学博物館客員教授
学術委員	坪井 善明	早稲田大学名誉教授
学術委員	中見 立夫	東京外国語大学名誉教授

資産管理委員 名簿

(2022年12月31日現在) 敬称略

職名	氏名	現職
資産管理委員 (理事)	時野谷 健	元カルピス株式会社常勤監査役
資産管理委員 (理事)	齋藤 芳男	元カルピス株式会社常務執行役員
資産管理委員	出塚 清治	税理士法人出塚会計事務所 公認会計士・税理士
資産管理委員	山田 和久	元カルピス株式会社健康・機能性食品事業部部長
資産管理委員 (理事)	山本 匠	元パンピー食品株式会社取締役社長
資産管理委員 (理事)	山田 誠	公益財団法人三島海雲記念財団常務理事
アドバイザー	柏原 延行	丸三証券株式会社常務執行役員 投資信託部長 チーフ・グローバルストラテジスト

附 属 明 細 書

1. 2022 年度事業報告の明細

- 1 2022 年度事業報告並びに
- 2 業務及び職務の執行状況において記載している。